

## 1 改定の趣旨

この度編集局では、『会報』第45号（2023年5月15日発行）で概略をお示ししましたように、査読の公正化、投稿論文の質的向上という包括的な目的を達成するために、『書学書道史研究』の投稿規定・執筆要領の改定を実施します。

近時『書学書道史研究』には学生会員をはじめとする若手研究者の積極的な論文投稿が大幅に増加し、その内容も多岐にわたる分野のものが見られるようになりました。一方、本誌の査読に携わる研究者もベテランから中堅・若手に急速に移行しつつあります。このような現状は、学会の活性化につながるものであり、歓迎すべきことではありますが、掲載論文の水準を維持、そしてさらに高めるための方策を立てること、幅広い分野の査読者の確保が喫緊の課題となっています。

新しい投稿規定・執筆要領・査読規定に関しましては、『書学書道史研究』第34号より適用します。ご熟読の上、原稿を投稿頂けますよう、よろしくお願ひします。会員のみなさまの積極的な原稿の投稿をお待ちしております。

## 2 改定事項 1 投稿規定と「書学書道史研究原稿チェックリスト」

・第2条「内容」を以下のように改定し、論文とは異なる性格を持つ原稿の取り扱いについて規定しました。

2 内容…書学書道史及び周辺分野に関する①～⑤の原稿。

- ①論文—独創性のある実証的・理論的研究の成果を持つ内容であり、学術上の価値を有するもの。
- ②展望論文—研究の現状や課題に関する論考・報告。
- ③研究ノート—独創的で学術的価値を有する資料紹介・調査・考察・解説・報告。
- ④書評—内外で公刊された当該分野の著作に対する書評。
- ⑤その他—寄稿、講演録、特集記事等、本学会に関連するもの。

なお、編集局は、上記の原稿の執筆を会員に委嘱することがあります。

・第5条「送付先」に、投稿者にとって原稿作成の助けとなるように、「原稿チェックリスト」を新設しました。なお、「原稿チェックリスト」は学会ホームページ上からダウンロードできますので、原稿と併せて提出して下さい。

5 送付先…〒一〇〇—〇〇〇三 東京都千代田区一ツ橋一——— パレスサイドビル七F（株）

毎日学術フォーラム内 書学書道史学会事務局 必ず書留または配達記録便を利用し、原稿及び「書学書道史研究投稿原稿チェックリスト」（学会ホームページからダウンロードすること）を提出して下さい。

## 書学書道史研究原稿チェックリスト

下記太枠内を第一著者が記入して下さい。項目を確認し、ボックスにチェックを入れて下さい。(□→☑)

題目	
種別	<input type="checkbox"/> 論文 <input type="checkbox"/> 展望論文 <input type="checkbox"/> 研究ノート <input type="checkbox"/> 書評 <input type="checkbox"/> その他
第一著者氏名	
所属等	
会員種別	<input type="checkbox"/> 一般会員 <input type="checkbox"/> 学生会員
チェック項目	<input type="checkbox"/> 本原稿の内容について、同内容のものを他に投稿中ではない。 <input type="checkbox"/> 本原稿の内容について、他の査読誌には未掲載のものである。 <input type="checkbox"/> 他の出版物の著作権、人権を侵害していない。 <input type="checkbox"/> 所属機関が定める倫理規則に反していない。 <input type="checkbox"/> 『書学書道史研究』の「投稿規定」「執筆要領」を遵守して投稿した。 <input type="checkbox"/> 執筆要領にある「別紙様式例」に従って本原稿を作成し、その適格性に問題はない。 <input type="checkbox"/> 〔前年度で査読判定が「不採用1」であった方のみ〕前年度の査読意見を踏まえて執筆した。 <input type="checkbox"/> 〔前年度で査読判定が「不採用2」であった方のみ〕前年度と同じ内容の投稿をしていない。 <input type="checkbox"/> 〔日本語を母語としない方のみ〕日本語のネイティブチェックを受けている。 <input type="checkbox"/> 以上、誤りがないことを宣言する。〔記入日： 年 月 日〕
連絡事項	
* 会員種別が「学生会員」の方は以下の項目についてもご記入下さい。	
指導教員名	
指導教員所属等	所属 : 電話番号 : メールアドレス :
チェック項目	<input type="checkbox"/> 本応募は、指導教員との相談の上で行われている。 <input type="checkbox"/> 本原稿の書式が整っていないと判断される場合、当該原稿は受理されず差し戻しとなることを理解している。

・第6条「査読」に、査読判定基準を具体的に提示しました。

6 査読…

①編集局で「書学書道史研究投稿チェックリスト」を確認し、受理、不受理を決定し、編集局長が投稿者に書面で通知します。受理された「論文」「展望論文」「研究ノート」に関しては査読委員会にかけ、査読を実施します。

②「論文」「展望論文」「研究ノート」は、内規により編集局内に設置する査読委員会において、査読委員を委嘱します。また、必要に応じて、本学会の査読者選定に準じ、会員以外の研究者に査読を委嘱することもあります。

③査読委員は、以下の判定基準に照らして「論文」「展望論文」「研究ノート」を査読し、その結果を文書によって編集局に報告します。

- A 書かれた内容が本誌の目的・方向性・読者層に合致しているか。
- B 書かれた内容に研究上の価値（研究領域への貢献度）と新規性（オリジナリティ）があるか。
- C 関連する先行研究に適切に言及しているか。
- D 研究手法が適切か。
- E 結果の説明や論述、表現等に不明瞭な点はないか。

④「論文」「展望論文」「研究ノート」は、査読委員会において、その採否を決定し、編集局から通知します。ただし、採否の決定にあたっては、査読委員会において原稿の訂正を求めることがあります。

⑤「書評」「その他」は査読委員会の協議によりその採否を決定します。ただし、採否の決定にあたっては査読委員会において原稿の訂正を求めることがあります。

3 改定事項 2 執筆要領

・第1条「提出原稿」第1項では、「別紙様式」について提示しました。原稿執筆の際は、この様式に従って、加筆を要しない完成原稿の執筆をお願いします。また、第3項では、各種原稿の枚数について規定しました。

1 提出原稿…

①原稿は、校正時に加筆を要しない完成原稿とし、[別紙様式]に従って学会ホームページからダウンロードした縦組みの様式で電子入力し、鮮明に印刷した紙媒体（モノクロ印刷に限る）三部を提出して下さい。複数号にわたる分載は認めません。

③分量については図版・表などを含め、「論文」・「展望論文」は一四ページ以内、「研究ノート」は八頁以内、「書評」は三頁以内、「その他」の原稿の枚数は自由としますが、一四頁を上回らないものとします。

・第3条「投稿申し込み」では、大会だけでなく、例会発表者の原稿についても、発表の時点『書学書道史研究』の投稿申し込みを受け付けたものとして扱うことにしました。

3 投稿申し込み…随時。ただし、各年度版への申し込み締め切りは前年末（十二月三十一日）とします。八〇〇～一〇〇〇字のレジュメを添付し、文書でお申し込み下さい。この時点では、レジュメのみの提出です。大会及び例会発表者については、発表の時点で申し込みを受け付けたものとして扱いますので、レジュメの提出は不要です。